

核兵器廃絶と恒久平和を 実現しよう!



2024 平和行動 in 広島 8/5(月)~6(火)

8月5日(月)、「平和行動 in 広島」が開催され、連合愛媛からは青年委員会の役員と構成組織の若人6名と事務局1名で参加しました。

沖縄からリレーされた平和行動の第2弾として、8月5日(月)は、午後から行われたピース・ウォークに参加し、連合広島青年・女性委員会メンバーから平和記念公園内の慰霊碑について説明を受け、それぞれの慰霊碑に込められた平和への願いを知ることができました。

その後は会場を移して行われた「被爆79年連合2024平和ヒロシマ集会」では、「被爆80年に向けて 被爆地広島の課題と役割」と題して宮崎智三 中国新聞社特別論説委員の講演と、被爆体験証言として箕牧智之さんの体験談をお聞きし、改めて戦争や原爆の悲惨さを思い知り、平和活動の重要性を再認識するとともに、二度とこのような戦争を起こしてはならないと強く感じました。

平和アピールでは、全国からの参加者(1,780名)全員で核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現をめざしていくことを誓い合いました。8月6日(火)には平和祈念式典に参加し、黙祷を捧げるとともに改めて恒久平和を祈りました。今回の平和行動に参加して、「見て、聞いて、感じたこと」を構成組織で伝えていただければと思います。

8/5~6 広島
【参加者7名】

鎌田 大聖
(帝人労組松山支部)

渡部 和希
(帝人労組松山支部)

山下 悟史
(JAM井関農機労組)

浜野 友佑
(JAM井関農機労組)

武智 優太
(情報労連NTT労組)

猪口 竜翔
(電機連合東芝ライテック労組)

寺田 淳泰
(連合愛媛)



体験談を話す箕牧智之さん



高校生平和大使の報告

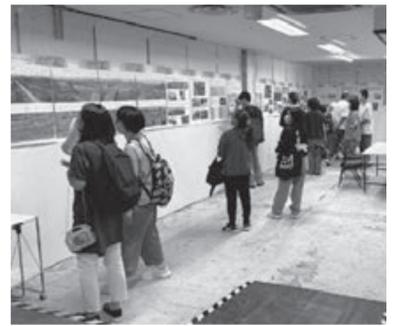


2024 原爆写真展 を開催

8月10日(土)青年委員会と女性委員会の合同企画で原爆写真展を開催いたしました。当日は、松山まつり野球拳おどりが開催中であり、多くの来場者がありました。(179名)

また、会場では折り鶴を作成できるコーナーを設け、青年委員会・女性委員会役員や来場者の方々に多くの折り鶴を作成し、来年の2025平和行動 in 広島参加時に献納する予定です。

戦後79年となり、戦争を体験された方々が少なくなり、戦争を知らない世代が増えています。戦争体験を風化させることなく戦争の悲惨さ、平和の尊さを将来にわたって語り継ぐために、「戦争を知らない私たちができることは何か、それは、忘れないこと、語り継ぐこと、繰り返さないこと」をスローガンに、これからも継続していきます。



2024 平和行動 in 長崎 8/8(木)~10(土)

8月8日(木)に、連合平和4行動の「平和行動 in 長崎」が長崎市総合体育館で開催され、連合愛媛から5名が参加しました。

平和集会では、連合長崎の高藤会長や主催者を代表して連合の吉野会長からご挨拶があり、国際情勢を見てもウクライナ侵攻や中東情勢など、未だ戦争が絶えないことや紛争地に住む多くの住民が犠牲となっている。また核兵器廃絶どころか抑止力を目的とした核兵器が増え核戦争の脅威が高まっていることに対して、長崎を最後の被爆地として、核兵器廃絶や世界の恒久平和の実現に向けたメッセージを継続して発信していくことについて触れられました。

翌日は、連合の平和学習会(ピース・ウォーク)に参加しました。爆心地公園にある原爆落下地点からスタートし、原爆が爆発した当時の悲惨な状況や、残っている被爆した建物について説明を受けました。その後、平和記念公園に移動し、平和への願いを込めた、各所や像について説明を受けました。

改めて多くの人の命を一瞬にして奪ってしまう原爆の恐ろしさを現地で学び、世界では原子爆弾保有国が複数あり、二度とこのような惨状を起こさないために、被爆国から平和に対するメッセージを発信し、次世代へ歴史や平和への願いを語り継いでいく必要があることを認識しました。

8/8~10 長崎
【参加者5名】

宗元 義次
(JAM井関農機労組)

神岡 直哉
(JAM井関農機労組)

白尾 知也
(東レ労組)

昌山 鈴唯
(帝人労組松山支部)

上甲 章史
(連合愛媛)



愛媛県最低賃金

【発効日】
10月13日



1時間 **956円** に改正!

NEWS
最低賃金

昨年度より**59円**引き上げ

